

栗原市防災学習センター 見学レポート

◎全体を通しての感想

今回の社会的知識向上委員会を通して、地震や火災、土砂崩れなどあらゆる災害の恐ろしさ、またその状況に遭遇した際自分たちがどのような行動をとるべきなのかを改めて考えることができました。特に、自分が体験した中で一番大きな災害である「東日本大震災」、今となっては、体験したのが幼稚園の頃というもありわすれかけていたのですが、今回 ビデオや地震の体験装置を通して、こんなにも、大規模で恐いものだったのかと感じ、~~それと~~それとともに、今の自分がこの大きな災害に巻きこまれた時に、冷静に適切な行動がとれるのかと考えるとあまり自信が無く焦りを覚えました。今回、火災の煙の体験をさせていただき、正直 余裕に出口まで出たろうと自分を過信していた部分がありました。実際に中に入ってみて、まず、目の前や足元、そばまで、外で見ていたはずなのに、どのくらいの距離に階段があるのかなどが頭で考えられなくなり、最初息を止めていたのですが、前にも逃げてる人がいるため、結局大量に煙を吸ってしまいました。あの時点で私は確実に死んでいたと思うと、冷静に口元を布でおさえ、最小限の呼吸で済ませるべきだったと感じました。

◎良かった点

良かった点は、仙台は、高い建物が多く、道を車で渋滞しているため、都市部にいる時に津波に巻きこまれたらどうすれば良いのかを知ることができた点。また、普段見る機会がない橋脚司令室を間近に見ることができた点。そして津波でも火災が起きる可能性があることを知ることができた点です。

◎改善できる点

今後、私が改善すべき点としては、災害を他人事としてとらえるのではなく、1つ自分の身におまておめあかしくないということを頭でしっかりと理解すること。また、会社や家が海に近いので、1カドマニツオサ避難場所の確認、避難用具を備えておくかなければいけないと感じました。そして今回のことを家族にも伝えて家族をそのような状況に陥った際に安全に行動できれば良いなと思いました。